



ケヤキの巨木が立ち並ぶ自然環境豊かな公園。都市化が進む中で
市民の憩いの場として貴重な存在となっています。

— 福生十景・柳山公園 —

一般会計予算 ◀1,930万5千円を補正▶

総額167億3,357万3千円となる

平成三年第二回定例会は、六月二日から四日間の会期で開かれ二五日に閉会しました。

今定例会には、市長から三四議案及び陳情三件、更に議員から議案二件が提出され、議案を可決及び同意し、諮問二件を異議ない旨答申し、陳情三件を継続しました。

また、八人の議員が教育、福祉、道路行政等に対し一般質問を行い市長の施政を問いました。

今定例会に補正予算が提出されました。この補正予算とは、年度開始前にこの一年間に予測される歳入歳出を見込んで編成された予算に、年度途中での制度改正や急な案件等が発生した場合、その事態に対処するために、既に議決された予算の金額や予算科目に変更を加える予算をいいます。

補正予算の主な内容は、歳入では、老人福祉費関係で事業主体が都から市に変更になった痴呆性高齢者短期保護事業の都負担金及び宅地開発指導要綱に基づく学校施設等整備事業寄附金の増額。更に、老人保健医療特別会計の平成二年度決算見込みによる精算繰入金が見込まれました。

また、歳出では、議会費関係で自治法の改正により議会運営委員会が制度化されたことによる委員長報酬の見込み分、民生費関係で老人福祉費の都負担金補正による痴呆性高齢者短期保護委託料の増額、商工費関係で公衆浴場基幹設備補助金の新規計上、教育費関係で学校施設等整備基金の積立て及び福生第二小学校の施設改良事業費の増額が見込まれました。

この補正予算は、三常任委員会で慎重に審査され、本会議四日目に賛成多数で原案どおり可決されました。

第一日目 会議録署名議員の指名に続き、会期を四日間とした後、通告のあった八人の議員のうち三人の議員が、一般質問を通告順に行いました。また、当日提出された、職員の平成三年六学期末手当の支給割合を定める条例を可決しました。

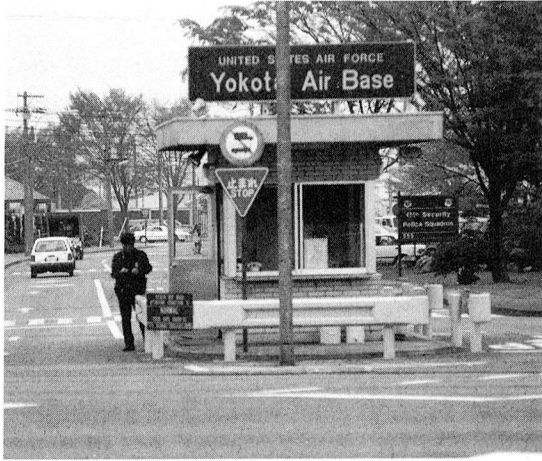
第二日目 前日に引き続き、四人の議員が一般質問を通告順に行いました。

第三日目 前日に引き続き、一人の議員が一般質問を終えた後、新たに提出された陳情一件を含め、二八議案と陳情三件の審議を行い、福生市税賦課徴収条例の一部改正等六議案と陳情三件を各委員会に審査を付託し、福生市表彰条例に基づく自治功労表彰についてを初め二一議案に同意しました。

第四日目 各委員会で審査された福生市税賦課徴収条例の一部改正等六議案の審査報告が委員長から行われ、報告どおりいずれも可決されました。

また、当日中央排水区その一工事請負契約等二議案と、人権擁護委員候補者の推薦に関する意見聴取について等二件が新たに提出され、審議の結果、原案のとおり同意及び諮問どおり異議ない旨を答申いたしました。

更に、当日議員より提出された福生市議会委員会条例の一部改正、福生市議会会議規則の一部改正と特別委員会の設置に関する動議の三件と、市長から提出された福生市議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正を可決し、福生市議会運営委員会委員の選任を行いました。



在日米軍横田基地

一般質問

横田基地返還に積極的な姿勢を

質問 ① 基地返還について都

知事も積極的な姿勢を示し、国などの姿勢にも変化があるように考

えるが、市長の基地に対する基本

的 な考 えを伺いた い。 ② E2C、C130、C9などの市上空での訓練についてどのように考 え、どのような対応を

しているか。

③ 基地白書「福

市と横田基地」をどのような形で市民に配付し、今後もし作り続けているのか。

④ 三月から五月の離着陸数を知りたい。

市長 ① 都の変化を歓迎し、今後の動向に注目していきたい。

基地を取り巻く現下の国際情勢は不透明な点が多々あり、直ちに基地が不要という結論は

見出せないが、長期的には冷戦から和平への世界の流れ等を考慮に入れると、基地の存在意義や有り様は変わってくるのではないかと考えており、できる限りの情報収集に努め、国際情勢の推移を見極め、的確な対応をしていきたい。

② 訓練の都度、国及び基地に抗議及び中止要請を行っている。

③ 三〇部ほどを一部一、九〇〇円で頒布したい。中央図書館と分館では閲覧ができるようにしている。今後の作成予定は、市制二五周年を迎える平成七年度を目途にしている。

市民部長 ④ リサイクルセンターの測定では、三月が七四七回で前年比一、三四八回の減。四月が一、一九三回で前年比四八九回の減。五月が一、一二〇回で前年比八三四回の減。市役所屋上では、三月が八五回、四月が三二〇回、五月が一四一回である。

第2回定例会
では8人の議員が一般質問を行いました

教育委員会独自の 広報の発行を

質問 教育委員会を市民に開かれたものにするため、教育委員会独自の広報発行についてどのように考えるか。また、昨年提出された市民に開かれた教育委員会の趣旨の請願中、不採択とした点につき、教育長としての考えを伺いたい。

教育長 毎月一日発行の広報により要点事項、次回の開催日時等を掲載している。今後はこれを「教育委員会だより」として定着させていきたい。また、請願中の教育委員会の会場移動の件は、今後実施していきたい。日程の広報掲載は実施済である。傍聴者に対しての人数制限をしない、資料の配布をする、発言を認める及び撮影・録音の自由等については、現在考えていない。

国民健康保険証の 本年度の交付状況は

質問 国民健康保険証の交付について、二年前は市民の八人に一人が交付を即日受けられなかったが、本年度の交付の状況はどうか伺いたい。

市長 保険証の交付状況は、更新時の対象世帯数八、三〇五世帯のうち、一、二八四世帯が税未納世帯であった。資格確認の必要上来庁願ひ六一六世帯について窓口交付をした。なお、確認した資格喪失世帯は四一世帯で、残る世帯については、被保険者の立場を考へ、資格世帯とみなして五月二四日にすべて郵送している。今後、収納体制の確立や資格の確認等を検討し、厳しい国保財政の健全化を図っていききたい。

市民に潤いを与える 遊歩道の整備を

質問 ① 市道一一九四号線(四小正門前通り)に遊歩道を設置したかどうか。

② 永田橋下と昭島との境をサイクリング道路として整備できないか。

市長 ① 散策路的なものにするには、道路幅員から無理であるが、美観上からも片側三〇センチ幅ぐらいの緑地帯は可能であるかを検討していききたい。

② 永田橋ぎわの工事を本年度行うので、福生市においては多摩川べりの全線が完成するので、羽村、昭島の両市町と協議し、多摩川べりを快適なサイクリング道路としたい。

事故の多い交差点 信号機の設置を

質問 ① 西村医院南側の交差点は、車の確認がしにくく、道路の優先権も不明確である。このため事故が多発しており、早急に信号機を設置できないか。

② 交差点、横断歩道等事故多発地点の対策として、車のスピードを落とさせるような道路構造の改善を施してはどうか。

市長 ① 御指摘のとおり交通事故が多い交差点で、昨年福生警察署に設置の要望をした。その後警視庁交通部に上申されており、現在設置について検討中とのことである。

② 一番には点滅鏡、カラー舗

装、赤色回転灯で対応している。また、警察と協議し、車体に振動を与える凹凸等も考えている。交差点の抜本的対策は視界の確保であり、できるだけ広い角きりをとるように努力していききたい。

通称わかぎり通りの 雨水排水対策を

質問 通称わかぎり通りは、通学路であって利用頻度の高い道路であるが、雨水排水状況が悪く、

降雨一〇ミリ程度で通行に支障を来す状況にあるが、この対策を考えているか。

市長 地域的に低地であり地下浸透槽をわかぎり通りに接続している市道一二五一号線に設置済である。機能回復のために汚泥の除去も行っているが、浸透速度分以上の排水は望めず一時的なものである。現在、雨水排水幹線の計画が進んでいるので、基本的にはそ

放置自転車対策に レンタサイクルの導入を



放置される自転車(拝島駅北口付近)

質問 放置自転車対策として、全国初の試みである練馬区

のレンタルのタウンサイクル事業は、区所有の自転車を有料で貸し出す方式で、施設も利用者用の通路を必要とせず省スペースである。

区民の利用も高いと聞くが、当市の考えはどうか。

市長 このシステムにより駅前の放置自転車は減少できると言われているが、反面管理上、財政上の問題点が危惧されることもあり、今後調査・研究をしたい。

一五年を迎えた朝市 周辺市町と共同で

質問 一五年目を迎えた朝市も、年々出品が減っている現状から、秋川、羽村、瑞穂等周辺の地場産業者等と共同実施することによって出品者の幅を広げ、活性化を図ってはどうか。

市長 朝市は年二回、市役所前庭で実施しているが、地元産の野菜が短時間で売り切れてしまうこととは、朝市実行委員会でも課題となっている。秋川、羽村、瑞穂等との共同実施は困難な問題もあるが、朝市実行委員会等とも再度協議し、今後品切れ、延命策等も含めて今一度検討していきたい。

ひまわり共同作業所の 建物老朽化対策を

質問 ひまわり共同作業所は、三年前に障害者の社会復帰を目指す施設として開設されたが、老朽化の進む建物（プレハブ造り）に対し、市はどのように考えているか。

市長 市内篤志家の御協力により実現された民間施設であるが、関係者の努力によって、既に六名

の方が民間企業等で働いている。施設等については篤志家とも御相談し、研究していきたい。

中学校給食の 対策について

質問 一五年前に請願を採択し、このたび中学校の完全給食に関する答申が出された。実施されるまでの間、各中学校に売店を設置し、生徒に主体性を持たせた弁当の取り扱いをさせてはどうか。

教育次長 売店は、弁当を持参できない生徒に対する方策として新たな提案と思うが、当面は答申書の検討を優先していきたいので、今後の参考としたい。

市民プール 温水プールへ改造を

質問 夏場のプールは利用者が多く、市民に喜ばれているが、利用期間は年間二カ月しかない。現在のプールに屋根をかけ、ソーラーエネルギー等を利用して経費を節約した温水プールにできないか。

教育長 現施設は、平成二年度に五万六、四〇〇人が利用している。施設の一部でも年間を通して

利用できればと思うが、現在地は河川敷の保全区域であって、難しい規制もある。今後の基本計画策定の中で慎重に検討したい。

広域避難場所に ソーラー電池照明を

質問 長崎県の島原市等が大災害に見舞われているが、当市にお

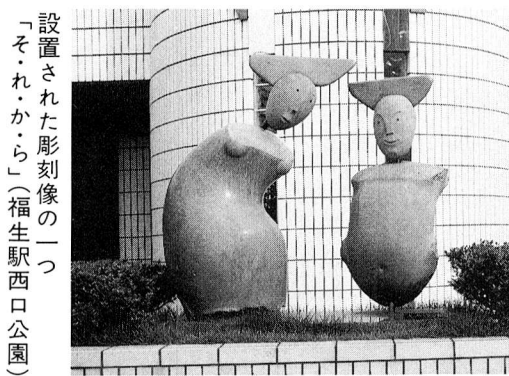
いても災害の発生によって、停電を余儀なくされた場合を想定し、広域避難場所にソーラーによる照明等設備を施してはと思うがどうか。

市長 ソーラー電池による照明施設のシステムも含めて、広域災害避難場所に非常用電源の設置を検討したい。

新しいまちづくり シンポジウム開催を

質問 都市景観事業の視点から、新しいまちづくりのための対応は、

また、まちづくりを進めるためのイベントとシンポジウムの開催が必要と思うが、市長の見解は。



設置された彫刻像の一つ
「そ・れ・か・ら」（福生駅西口公園）

市長 昭和六三年度から街角の美づくりの一環として、彫刻の設置を進めている。当市の総合計画では快適環境都市の形成を挙げて、風格のある都市の実現を目指しており、環境、芸術のシンポジウムの開催や、中国の「光を創造して観る」という意味合いの観光協会を創設していくことも肝要かと思う。いずれにしても長い息で市民意識の高揚を図り、具現化させる努力が必要と考え、時間をかけて独特のものを模索していきたい。

奥多摩街道に ガードレールの設置を

質問 奥多摩街道は交通量が多いにもかかわらず、通学路としても利用されているが、中福生から加美地区にかけてのガードレールは、玉川上水側のみを設置されており片手落ちである。また、下水の蓋がマウンドアップされており、子供や老人等には危険である。事故が起きる前に対策を考えてはどうか。

市長 都道であるので、西多摩建設事務所へ実情を伝えている。

都としても、道路幅員の狭隘から歩道の確保に苦慮しているようだが、今後とも強く要望していきたい。

外国人の多い福生

姉妹都市の対応は

質問 当市は、誰もが認める外国人の多いまちである。国際化への対応は、中学生海外派遣制度などで市民レベルの広がりを見せているが、今後姉妹都市については、どのように対応していくのか。

市長 外国の都市との姉妹都市の提携は、国際化の大きな柱とな

るものであり、積極的に進めていきたい。本年一〇月に、中学生海外派遣先のアメリカ、アラバマ州アセンズ市のコリンズ市長が来日され、当市にも立ち寄り予定であるが、今後交流が積み重ねられ、相互の理解が深まれば、姉妹都市提携の有力な候補の一つとして考えてみてもよいのではないかと思っている。

三常任委員会の 審査から

今定例会では、常任委員会（建設、厚生、総務）に六議案と陳情三件の審査が付託され、六月一七日から建設、厚生、総務の順に行われました。

なお、付託された議案は次のとおりで、いずれも可決しました。

○建設委員会

①福生市地区計画等の案の作成手続に関する条例

（都市計画法の規定に基づき地区計画等の案の作成手続について必要な事項を定めるもの）

②平成三年度福生市一般会計補

正予算（第一号）

（歳入歳出予算の総額に一、九三〇万五千円を追加し、一六七億三、三五七万三千円とするもの）

③市道路線の認定について

（道路新設に伴い市道として認定）

○厚生委員会

①平成三年度福生市一般会計補正予算（第一号）

（前段参照）

②平成三年度福生市老人保健医療特別会計補正予算（第一号）

（歳入歳出予算の総額に一、七〇五万五千円を追加し、一七億四七九万円とするもの）

○総務委員会

①福生市税賦課徴収条例の一部を改正する条例

（地方税法等の一部改正に伴い本条例を改正するもの）

②福生市都市計画税条例の一部を改正する条例

（前項に同じ）

③平成三年度福生市一般会計補正予算（第一号）

（前段参照）

議会日誌

▼4月

9日 東京都議会議長会理事
会及び臨時総会

7日 東京都知事選挙

11日 三多摩上下水及び道路建
設促進協議会正副会長・
委員長会議

14日 福生市議会議員選挙告示

21日 福生市議会議員選挙

▼5月

15日 第二回臨時会

23日 東京都議会議長会総会

24日 議会報編集委員会

27日 八高線電車化促進期成同
盟会総会

29日 三多摩上下水及び道路建
設促進協議会理事会及び
総会

29日 西多摩地区議長会

30日 東京都三多摩地区消防運
営協議会総会

31日 福生市国民健康保険運営
協議会

31日 青梅、羽村、福生地区都
市下水路組合議会

三鷹・立川間立体化複々

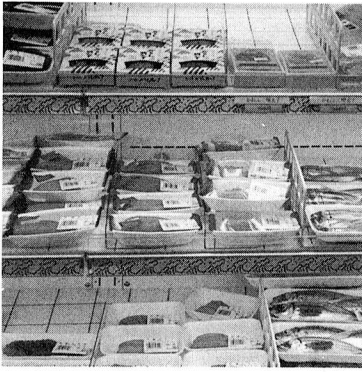
ごみ減量対策は いかに

質問 ごみ減

量対策の具体化として、古紙等の回収団体への報償金を大幅に増額し、活動を更に奨励すべきではないか。また、スーパーへのトレイ回収の申し入れはどうなっているのか。

市長 報償金

の引き上げは実施したばかりであり、今後その効果、他市の状況などを見ながら検討していきたい。トレイの回収は今後ともスーパー等に呼びかけていく。



発泡スチロールトレイが
使われる生鮮食品類

公園内の砂場に

囲いを施しては

質問 乳幼児が最も利用する公園内の砂場を、犬猫のふん、尿で不衛生にしないよう、フェンスで囲えないか。

市長 管理上確かに苦慮しているが、フェンスで囲むと公園の開放感を阻害し、利用者に支障を来すので、的確な措置とは思えない。公園巡回の中で対応に努めるほか、飼い主のモラル向上のPRを図りたい。

アレルギー性疾患の

今後の対策は

質問 全国的にアトピー性皮膚炎や、スギ花粉症など、アレルギー性疾患がふえ続けている現在、市民の健康を守る施策の一環としてどう取り組んでおり、また今後の対策はどうか。

市長 アレルギー性疾患の原因

病態はいまだ不明な点が多く、臨床医等、その解明に苦慮しているが、市においても各種健診時に医師、保健婦により指導しており、食生活の配慮とか、機会あるごとに身体、室内等を清潔にする指導

をしていきたい。

老人性白内障医療費 助成条件の改善の考えは

質問 老人性白内障医療費助成対象者の拡大のため、助成条件の改善の考えは。

市長 他市に先駆けて、本年四月から事業を開始したばかりであり、各種の福祉事業との公平性、

均等性を考慮した中での実施でもあるので、拡大は今のところ考えていないが、趣旨は今後の参考にしたい。

在宅老人福祉 施策の充実を

質問 近隣市町に比べて自己負担の高位、ショート・ステイ、入浴、給食サービスなどの負担軽減を図るべきと考えるがどうか。

市長 一層の充実強化に努めていくが、

個人負担の軽減は現在のところ考えていない。しかし、今後の利用単価値上げの際には、個人負担に転嫁をしないよう考慮していきたい。

線促進協議会総会

多摩地域都市モノレール

等建設促進協議会総会

▼6月

1日 東京都市収益事業組合議

会

福生市育英資金運営審議

会

3日 議会運営委員会

西多摩農業共済事務組合

議会

5日 関東市議会議長会総会

福生市都市計画審議会

6日 第二回定例会(一日目)

12日 第二回定例会(二日目)

13日 第二回定例会(三日目)

14日 建設委員会

17日 厚生委員会

18日 総務委員会

19日 横田基地対策特別委員会

20日 議会運営委員会

21日 第二回定例会(四日目)

25日 全国市議会議長会総会

26日 福生市ごみ減量推進協議

会

28日 全国市議会議長会基地協

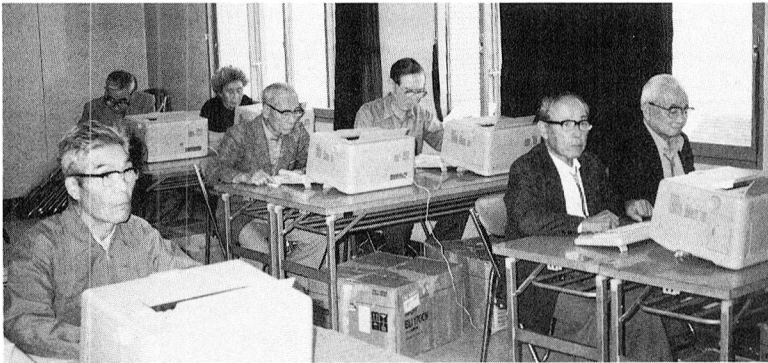
議会平成四年度基地対策

予算確保要請実行運動

西多摩農業共済事務組合

高齢化社会の 対応はいかに

質問 ① 健康な高齢者は、就労を通して社会参加をしたいとの希望が多い。市はシルバーセンタ



ワープロ研修に励む
シルバー人材センター会員

①に助成しているが、その現状はどうか。更に今後の対応策、考え方について伺いたい。

② 高齢者の健康保持への市の考え方はどうか。

③ 学習機会の現状と、今後の拡充策はいかに。

市長 ① シルバー人材セン

ターも一〇年の歩みを経て、受託事業も二億円を突破、五七〇余名の会員を数えている。就業率七一・五%を超え、地域社会への連携、福祉団体への協力等、各種事業に積極的に取り組んでいる。また、会員に知識、技能の付与を目的とする講習会等実施する中で、資質の向上を図り、就業機会の拡大に努めている。センター内にも長・中期目標の検討委員会が設置され、具体的な事業目標の体系化が図られるので、市としてもそれを受け、実施できるよう前向きに取り組んでいきたい。

② 豊かで充実した人生を送るための基盤として、自分の健康は自分で守り、つくるといふ基本の

もと、健康づくりを支援している。幼児から高齢者までの市民健康まつりの実施等、市民のニーズにあった健康づくりカリキュラムを策定し、健康増進に取り組んでいきたい。

教育長 ③ 高齢化社会にお

ける学習機会の拡大、拡充策については、昭和五五年度から「語らいの広場」を設置し、実施してきた。特に、昨年は市制二〇周年を記念して「寿市民広場」を実施したところ、講演会、触れ合い・語らい会、探訪福生、歌い・語りの集い等、全三六回、延べ二、三〇〇人の参加があり、学習機会拡大への契機になったと考える。

福祉部長 ① シルバー人材セ

ンターの子算額は平成三年度において二億五、五五二万円で、主な財源は事業収入二億二、三九万円、補助金四、一八九万四千円の予定である。補助金の内訳は、国が人件費、就業能力開発費、都が人件費、管理運営費、市が管理費、人件費をそれぞれ補助している。支出は事業による配分金が主で、一億八、九一〇万円、人件費が三、三二九万一千円、管理運営費が一、四七三万五千円等の予定である。

下の川改修工事の現況と 跡地利用は

質問 ① 下の川改修工事の完了予定と、五日市線下のトンネル工事の進捗状況は。

② 下の川改修跡地の幅員八メートルの道路拡幅に伴う、住環境への影響は。

③ 道路拡幅により、自然の宝庫としての周辺環境は、どのように保全されるのか。

市長 ① 全延長一、五四〇

メートルを平成五年度完成を目的としている。五日市線盛土部分の工事は、JRとの関係、台風による出水等で一時中断があり工期を延長してきたが、この一二月完成。また、道路全体の完成は、補助金や下水道との関連から平成六年度の予定である。

② 道路整備に際し、民地側に一・五メートルの歩道を設け、交通安全の確保を図る。田園通りへの通り抜け車両は、清水坂通りを利用してもらうことになる。

③ はけ部分の買収を今後できるだけ進めて緑の保全を図り、散策路等も造りたい。

多摩川の

再生を

質問 ① 多摩川再生のための流量増要請の現況と、市の対応は。

② 国や都の水質基準からみた汚濁の現状は。

③ 砂利流入による川底の上昇が、水質汚濁の原因となり、また大量降雨時には溢水の恐れも考えられるがこの対応は。

市長

① 機会をとらえて要請を続けてきたが、都においては長期計画の中に「多摩川の清流復活」が初めて入り、本年度一、〇〇〇万円の調査費が計上された。環境保全局が実質的な担当となり、次年度以降、具体策の検討がなされると思われるので、都の動向を注視し、側面的協力をしていきたい。

② 都市下水路組合では、平成六年度を目標にBOD三・五PPM以下、SS六・六PPM以下にすべく努力しており、組合議会のあるごとに、当市の実情を述べて、水質改善を強く働きかけているので、しばらくの猶予をいただきたい。

③ 御指摘の点は、建設省等関係機関へ陳情を行っており、今後

とも強く要望していきたい。

社会教育の 充実対策を

質問

① 老齢化社会を迎えるにあたり、生涯を通じての教育の場である、社会教育の実施内容と予算の執行状況は。

② 市民会館、公民館、図書館等の施設拡充は十分であるか。今後の整備の考えは。

③ スポーツ、趣味関係を初め、各種社会教育団体への振興費の現況はどうか。それら団体のリーダー養成の方法は。

教育長

① 社会教育は大きく分けて青少年の健全育成（平成二年度より青少年海外派遣事業実施）、文化活動（七月一日プチギヤラリー開館）、体育活動（三二教室、図書館活動、市民会館・公民館活動の五つの分野における様々な事業の実施の中で、多くの市民の参加を得ている。平成二年度における公民館の教室等の開設回数は八八一回、約一五、〇〇〇人の参加者があった。この他、公民館を利用し活動されている団体は二〇〇を超えている。予算の平成二年度

執行見込みは、社会教育費総額で七億八、一五七万円である。

② 社会教育施設は利用団体が増加している状況にあり、スペース的に常時十分とは言えない面もあるが、利用者の話し合いや調整で効率的な利用を願っている。今後備品、教材、教具の充実、情報の提供等について、継続的に努力していきたい。

③ 振興費についてはボーイスカウト・ガールスカウト連合育成会、青年団体連絡協議会、文化連盟、体育協会、公立小中学校PTA連合会の五つの団体に補助金を交付しており、今後とも財政的、人的、物的援助等積極的に行っていくきたい。リーダー養成については、公民館事業の中の利用者研修会という形で、リーダーを育てる機能を持たせている。また、高齢者については、来年度から育成を計画している。

市内公共交通

機関の拡充を

質問

① 実施計画にあるバス路線網の拡充、運行の増強についての具体策は。

② 市内循環バスの運行につい

て、近隣の状況を知りたい。

市長 ① 現在市内には二〇系統のバス路線が福生駅を中心に乗り入れているが、ここ数年利用者は横ばいの状況にあり、増発するには採算性や道路事情の悪化等により難しい状況にある。公共交通機関の重要性に鑑み、道路網の整備を図るなどし、今後関係機関に働きかけていきたい。

企画財政部長

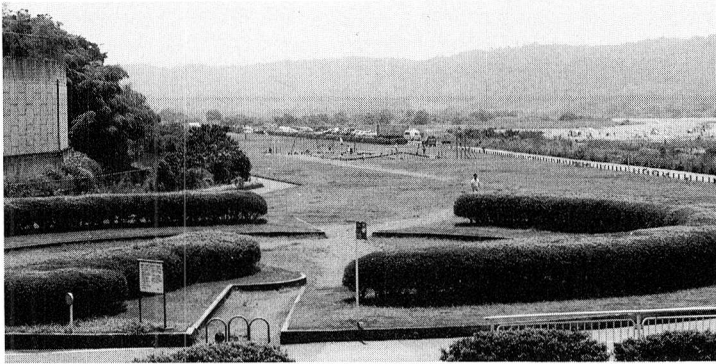
② 鉄道駅のない武蔵村山市の例では、バス運行のない路線を、一日一五本運行し、市民の利便を図っている。運行に係る経費は、バス三台の減価償却費も含めて約五、〇〇〇万円。利用者は年間約七、〇〇〇人である。

議会を傍聴
しましょう
次の定例会は
9月です

南公園の 改修内容は

質問 市民に最も多く利用されている、南公園改良のための調査結果と、改良目的、内容を知りたい。

市長 南公園の施設の老朽化が



改修が予定される南公園

進み、また自動車が奥まで入れるため、利用者の安全確保上、改修に着手した。改修の基本方針は、恵まれた自然の中で子供からお年寄りまでが楽しめる環境をつくり、触れ合いの広場づくりをテーマとして計画した。内容は、既存の野球場、テニスコートを確保しながら、駐車場を入口付近に設置するほか、ゲートボール場を中央に設け、イベント広場を確保する等が基本設計である。平成四年の着工を予定している。

高齢者向けの 住宅確保を

質問 市営住宅の中に、老人向け世帯や一人暮らしの老人用を設けたらどうか。また、従来から民間アパートの借り上げ制度化を図ったかどうかと質問しているが、その後の研究、検討内容を伺いたい。

市長 現在のところ具体的に申し上げるまでに至っていないが、高齢化対策推進本部で、その他の

福祉施策も含め、住宅のことも検討しており、その検討結果を踏まえて今後実施方法を考えていきたい。また、都営住宅についても引き続き要望していきたい。

駐輪場 対策について

質問 福生駅東口の都住宅供給公社買収地に、公社が建物建造に併用して駐輪場を設けると聞くが、その規模と管理方法等について伺いたい。また、熊川駅東側に、道路や防火水槽用地として買収した土地の一部を、駐輪場として活用できないか。拜島駅西武線側の平和橋周辺の放置自転車対策はどうか。

市長 福生駅東口の駐輪場対策は、大聖病院西側の土地を市も協力する中で、地主、関係者の理解が得られ、都住宅供給公社が取得した。その中で、今後当駅周辺に二千台ほど駐輪している自転車の抜本的解決が図られるよう、供給公社がこの土地を開発するに際し、地下を利用した駐輪場を設置してもらい、これを市が利用することで進めていきたい。熊川駅周辺には、約一〇〇台の自転車が駐輪し

ているが、防火貯水槽として確保した一三〇平方メートルの用地を関係機関とも調整し、当面活用していきたい。平和橋周辺については、拜島駅北口の駐輪場として使用していた用地を、土地開発公社が取得しており、今後は立体式の駐輪場として整備し収容していきたい。

議員表彰

全国市議会議長会及び関東市議会議長会では、議員として永年地方自治に功績のあった方々を表彰いたします。

今年度においては、次の議員が表彰されました。

●全国・関東市議会議長会

正副議長四年以上

仲村 清信

議員二〇年以上

宮沢 良一

議員一〇年以上

堀川 實

一般質問項目

○横田基地について

- 1、国や都などの考え方について
- 2、E2C、C130、C9などの市内上空での訓練について
- 3、基地白書（福生市と横田基地）について
- 4、三、五月の離着陸数について

○教育行政について

教育委員会の広報について

○国民健康保険について

保険証の交付について

○市道の整備について

- 1、遊歩道の設置について
- 2、サイクリング道の整備について

○雨水対策について

市道一二五号線の雨水排水について

○交通対策について

- 1、信号機の設置について
- 2、交差点横断歩道、事故多発地点の対策について

○駐輪対策について

レンタルのタウンサイクルについて

○朝市について

秋川・羽村・瑞穂共同の朝市について

○福祉対策について

ひまわり作業所の建設について

○中学校給食の対策について

各中学に弁当取り扱い所、あるいは売店設置について

○社会教育について

現プールを温水プールに改造できないか

○交通安全対策について

奥多摩街道のガードレールと安全対策等について

○災害対策について

広域避難場所にソーラー電池による照明を

○社会教育文化事業について

都市景観事業による市独自の新しいイベント等に向けて

○姉妹都市について

国際化社会に対応した姉妹都市の問題について

○健康施策の充実について

増え続けているアレルギー性疾患の今後の対策について

○ごみ減量対策について

今後のごみ減量対策について

○公園行政について

公園の管理・運営について

○老人性白内障医療費助成事業について

対象者の拡大について

○老人福祉行政について

在宅老人福祉施策の充実について

○下の川改修工事の現況及び改修跡地の利用について

1、工事を完了予定と工事の進捗状況について

○熊川区画整理について

今後の対応はどうか

○中学校給食について

答申について

○多摩川の再生について

1、流量の増量要請の現況と市の対応について

○多摩川の再生について

2、汚濁原因の追求と他市町への市の働きかけについて

○市内公共交通機関の拡充について

3、砂利流入による川底上昇についての対処について

○市内公共交通機関の拡充について

1、バス路線網の拡充・運行の増強に対する市の対応について

○市内公共交通機関の拡充について

2、市内循環バスの運行について市の考えは

○社会教育について

1、社会教育の実施状況・予算執行状況について

○社会教育について

2、社会教育施設の拡充について

○社会教育について

3、社会教育団体の振興策について

○高齢化社会の対応について

1、社会参加対策について

○高齢化社会の対応について

2、健康の増進対策について

○高齢化社会の対応について

3、学習機会の拡大・拡充策について

○熊川区画整理について

今後の対応はどうか

○中学校給食について

答申について

○中学校給食について

教育委員会の今後の取り組みについて

○片倉跡地の利用について

福祉センターと他の施設を設置することについての問題点は

○横田基地について

1、E2Cの訓練について

○横田基地について

2、基地の返還について市長の考え方は

○道路対策について

福生市の主たる道路の一部に行き止まり、又は幅員が狭くなっているところがあるが、この対策について

○駐車場対策について

駐車場不足にどのように対応しているか

○町会会館の使用について

市の公共物にして、より高度な地域活動のための拠点とすることができるか

○学校教育について

1、より健全な学校教育の向上について

○学校教育について

2、学区と町会の重複地域の是正が可能か

○学校教育について

2、学区と町会の重複地域の是正が可能か

熊川地区区画整理の 対応はいかに

質問 熊川地区区画整理の早急な対応について伺いたい。

市長 市としても反対をされている方々を初め、地区の方々への個別訪問等を行い、意見を詳しく分析中であるが、減歩等からくる不満が多くあるようである。一方、その他意見として、陸橋通りの拡幅を望む多くの意見もある。全体的な感触は、今後更に区画整理を推進することは、多分に無理があるように思われる。なお、本年度中には一定の方向づけをし、議会にも相談したい。

中学校給食

答申後の対応は

質問 去る三月二十八日付けの中学校給食審議会答申後の、対応と取り組みは。

教育次長 四月二六日の定例教育委員会に答申書の報告をし、五月開催の定例教育委員会終了後の協議会で、今後の取り扱いを協議した結果、まず教育委員会協議会において取り扱っていくことが確認された。

議会運営委員会の条例化 とよりよい福祉センター 建設のために特別委員会 を設置

議会運営委員会については、全国の議会が議会活動上の必要性から長い間、国に強く法に基づく委員会としての制度化を要望していたもので、本年四月に制度化が実現されました。

これを受けて、今定例会最終日に、従来の任意設置の委員会から法に基づいた委員会として設置するために福生市議会委員会条例とそれに関連する福生市議会会議規則の改正を行いました。その後、委員の選任を行い、八名の委員を決め、委員長(齋藤 巽)・副委員長(小野沢 久)を互選しました。

特別委員会については、議員から特別委員会設置の動議が提出され、委員一二名を決めました。その後、委員長(上野重勝)・副委員長(山下 進)を互選しました。委員会の名称は「福祉センター建設特別委員会」で、目的完了の日まで設置され、市民要望を盛り込んだ福祉センターの建設に努力していくことになりました。

片倉跡地利用の 問題点は

質問 片倉跡地に、福祉センターと多数の人の利用が見込まれる都立宇宙科学館の併設が考えられているが、同一敷地内にこのような二つの施設が整合性をもって設置が可能か。また、問題点は全くないのかどうか。

市長 同一敷地に計画する福祉センターと宇宙科学館は、「静と動」という正反対のイメージを持たれがちであるが、最近における

問題点は

社会福祉施設の課題は、いかにノーマライゼーション思想を普及、実現させるかだと言われている。十分なPRと行き届いた設備によって安全が図られていれば、その考え方の普及に絶好の場であり、よい訓練の場ではないかと考える。

中学校給食の 今後の取り組みは

質問 三月二十八日付けの答申で、中学校給食は完全実施が望ましいとあるが、これをどのように受けとめ、教育委員会ではどんな場で、どのくらいの期間で審議をしていく予定か。また、審議を市民が傍聴できるのか。

教育次長 教育委員会協議会で検討していくが、答申内容は十分尊重していく。傍聴については、協議会は合議制のため、その時点で諮りながら、決定される。検討期間については、答申内容が多岐にわたっており、推移を見なければ明言はできない。



熊川・奥多摩街道沿い
片倉跡地

横田基地返還

市長の見解は

質問 ① 横田基地のE2Cの最近の飛行訓練の通告、訓練状況は。また、当市の訓練中止要請などはどのように行ってきたか。

② 横田基地返還について、市長の見解は現時点においても、三ヶ月議会時と変わりにないか。

市長 ① E2Cの訓練については、四月三〇日、五月一日及び六月六日に無通告で、五月二九日、六月四日は直前通告であった。訓練の都度、中止要請を行い六月六日に文書により、また七日には四市二町の市・町長連名で、国と基地に対し中止要請を行った。この間における飛行回数は六八回、市民からの苦情は一件であった。

② 基地返還問題については、東欧諸国、アジアにおける中国、朝鮮半島の南北問題等、いまだ世界的な動向に不透明な点が多々あり、直ちに基地が不要という結論は見せず、具体的な行動を起こす状況下にはない。都知事が横田基地返還を打ち出したが、都の変化を歓迎し、今後の動向に注目していきたい。また、長期的な視点で情

報収集に努め、的確な対応をしていきたい。

市民部長 ① E2Cの飛行結果は、四月三〇日、一〇回、八三ホーンから七五ホーン。五月一日、七回、八一ホーンと七〇ホーン。五月二九日、一一回、七九ホーン

と七〇ホーン。六月四日、一七回、八一ホーンから七二ホーン。六月六日、午前が七回、七九ホーンから七六ホーン、午後一六回、八三ホーンから七八ホーン。合計六八回飛行した。

狭い・行き止まり幹線道路 商業発展等に悪影響

質問 市の幹線道路である通称柳通り・産業道路・多摩橋通り・

陸橋通り等において、行き止まりや幅員の狭いところがある。その

結果、渋滞を招き、市民生活、商業の発展にも悪影響を及ぼしているが、その対策について伺いたい。また、踏切の警報機の鳴る時間の異常な長さにより、付近住民は渋滞時に不便を感じているが、鳴る時間を調整し短縮できないか。



行き止まり幹線道路の一つ
(通称産業道路・武蔵野台地区)

市長 通称柳通りは、市道と都道の移管替えを行い、都施行により事業化が図られるよう都へ要望している。通

称多摩橋通りは、都により概略設計が実施され、原ヶ谷戸交差点における道路のすり合わせ等の問題について都と協議を行っており、一定の見通しも出てきている。通称陸橋通りは、熊川区画整理の中で面的整備により拡幅を計画している。国道一六号線や圏央道のアクセス道路として重要な道路であり、特に考慮していきたい。通称産業道路は、都施行により事業化が図られるよう努力していきたい。踏切の警報機の時間短縮については、JRに話をしていきたい。

雲仙・普賢岳被災に 見舞金を送る

福生市議会議員は、六月一四日、長崎県雲仙・普賢岳災害見舞金として、二四万円を島原市災害対策本部に送りました。

健全な学校教育への 取り組みは

質問 ① 授業中における私語や立ち歩き等、子供たちの規律のゆるみが目につく。安心して勉強できる環境を作るため、皆で学校を見守っていかねばならないと思うが、より健全な学校教育の向上について、行政はいかに取り組んでいくのか。

② 青少年活動は町会単位の活動であるが、学区と町会が一部重複しているため、親と子が一緒に活動できない。重複地域の是正は可能かどうか聞きたい。

教育長 ① 学校教育は、心身ともに健康で、人間性豊かな児童生徒の育成を目指して取り組んでいる。より一層の学校教育の質的向上を図るため、教師自身のみならずを高めていくための研修が極めて重要であり、校内研修等の充実を図るべく指導、助言している。

② 学区は昭和四九年に改正している。通学区の設定、変更にあたっては、学校の適正規模の確保が大きな条件となっている。更に通学距離、交通上の安全、地域との関係等を配慮して定めており、

現在定着している中で是正は極めて厳しい状況である。

商店街活性化に 駐車場確保を

質問 土地の高度利用、相続税対策等でさら地が消えていく。反面容易に車が買える時代となり、駐車場不足による駐車料金は上昇すると思われる。商業発展のために駐車場料金上昇抑制の手立てや、商店街活性化のための駐車場確保対策について伺いたい。

市長 深刻な駐車場不足は社会問題であり、駐車料金の高騰が市民生活を圧迫することは事実であるが、土地不足や最近の地価高騰によりこの対策には苦慮している。今後、市の駐車場検討委員会等で十分検討したい。

町会会館を 市の公共物にしては

質問 老人福祉、低年齢のボランティア意識の育成や町会の枠内での地域奉仕に多くの市民が活動し、また情報伝達などの行政面での活用等、より高度な地域活動の拠点として多目的に利用できるように、町会会館を市の公共物とし

てはどうか。

市長 町会、自治会活動は基礎的な一つのコミュニティと考えており、地域住民の総意と工夫による自発的な活動が望ましい。現在、町会会館には可能な範囲で援助している。町会会館を市の所有にすることにについては過去の経緯もあり、今後町会等関係者に意見を伺い研究していきたい。

陳情・請願

各委員会で審査された陳情、請願の結果は、次のとおりです。

- 厚生委員会 ○敬老改善についての陳情書
- 高齢者専用の公営住宅の建設についての陳情書
- 総務委員会 ○朝・日国交正常化の早期実現を求める意見書提出に関する陳情書 (以上継続)

本会議場における 討論の概要

福生市税賦課徴収条例の一部を改正する条例

〈反対討論〉

都市の農業は、生産緑地としての場であるばかりでなく、防災、水質浄化、大気汚染防止、快適な景観の維持等、様々な機能を持っているが、今回の市街化区域内農地に対する課税の強化など制度変更の動きは、多くの機能を崩壊させるばかりでなく、無秩序な宅地開発と地価高騰につながり、健全な街づくりにとって重大な障害になるものであることから、本改正には反対である。

平成三年度福生市一般会計
補正予算(第一号)

〈反対討論〉

痴呆性高齢者短期保護事業は、都の単独事業として昭和五六年から開始されてきた事業である。今補正では、事業費の三分の一を市が負担する形で計上されているが、当初予算時点では、都で実施していくようにとの事務折衝が行われており、当初計上でできなかった補正そのものに問題がある。

また、都庁舎を建設する黒字財政の中で、様々な福祉切り捨てや、地方自治体の個々の財政状況を考慮しない一律の負担増を行っており、賛成できない。